

生活・文化拠点再整備事業の取組状況について

生活・文化拠点再整備事業（以下「本事業」という。）については、令和3年度から市民会館の他、旧南市民図書館、市民ギャラリー等の複合施設の整備と合わせ奥田公園、雨水浸水対策施設を含めた再整備の検討を進めてきました。

令和4年6月には、藤沢市民会館等再整備基本構想（以下「基本構想」という。）を策定しました。

今回は、基本構想策定後の取組状況及び今後の予定について報告するものです。

1 これまでの取組について

(1) ビジョンの設定について（資料1-1）

基本構想の策定以降、藤沢市プロジェクト組織設置規定に基づき設置した関係する10課による藤沢市民会館等再整備事業推進プロジェクト組織内の庁内ワーキンググループを全14回開催し、本事業におけるビジョンを設定しました。



写真 庁内ワーキング

(2) 検討結果について

基本構想において、複合化による効果等を踏まえて検討することとしていたコンベンション機能、アートの複合化について、民間事業者へのサウンディング型市場調査に向けて、方針を整理しました。

ア コンベンション機能について

現在の市民会館に存する展示集会ホールのような市民利用を主とした多目的に利用できる空間を備えた機能を、複合化の対象として整理しました。

イ アートスペースについて

ビジョンに対する貢献及び他のコンテンツとの相乗効果を考慮し、複合化の対象として整理しました。

(3) 公民連携モデルプランの検討について

公民連携による効果を最大限発揮するために必要な事項や事業手法について検討するものです。検討に向けてはサウンディング型市場調査を通して、事業者募集にあたり、公民連携による事業手法、与条件を整理します。

(4) アーバンデザインガイドラインの検討について

アーバンデザインガイドラインは基本計画の一部を構成するもので、基本構想に基づく生活・文化拠点における公共空間としてのハード整備の望ましいあり方、留意すべき基本的事項に関して、市民、民間事業者等とのイメージ共有に活用することを目的として作成するものです。学識経験者で構成する策定委員会をこれまで4回開催し、対象エリア周辺の特性を整理するとともに、エリアのデザインコンセプト、デザイン方針等についての検討を進めています。

(5) シンポジウムの開催について

本事業についての理解を深めていただき、公民連携を軸とした検討プロセス等の共有を図ること、公民連携によるまちづくりの視点から、生活・文化拠点の未来像について市民や利用者とともに考えることを目的として開催しました。



写真 生活・文化拠点再整備事業シンポジウム

ア 開催概要

- (ア) 日時 令和4年12月17日(土) 午後4時から6時30分まで
- (イ) 会場 藤沢市民会館 第1展示集会ホール
- (ウ) 内容
 - ・生活・文化拠点再整備の取組について
 - ・基調講演「公民連携による新しい公共空間のつくりかた」
 - ・トークセッション「エリアの価値を高めるために」
- (エ) 参加人数 103人

(6) サウンディング型市場調査

民間事業者との個別対話により、庁内ワーキンググループで検討してきたコンテンツ案の実現可能性や市場性の有無、担い手となる事業者の発掘やアイデア、事業者公募に向けた条件等について調査するものです。調査の結果は、「コンテンツ」「与条件」をはじめ、事業手法等あらゆる事項に反映することを予定しています。

ア 目的

本事業における市の考え方を民間事業者の皆様に広く知っていただくこと、及び「コンテンツ」「与条件」を精査するための幅広いご意見をいただくことを目的として実施します。

イ 対象

本事業の対象となる施設やコンテンツの内容は多岐にわたることから、企画・

運営やコンテンツの実施主体となり得る法人又はそれらのグループを幅広く対象とし、意見聴取を行います。

ウ 実施スケジュール

令和4年 12月末 サウンディング型市場調査の参加公募
 令和5年 1月18日 実施説明会の開催
 2月～3月 個別対話の実施

2 今後の予定について

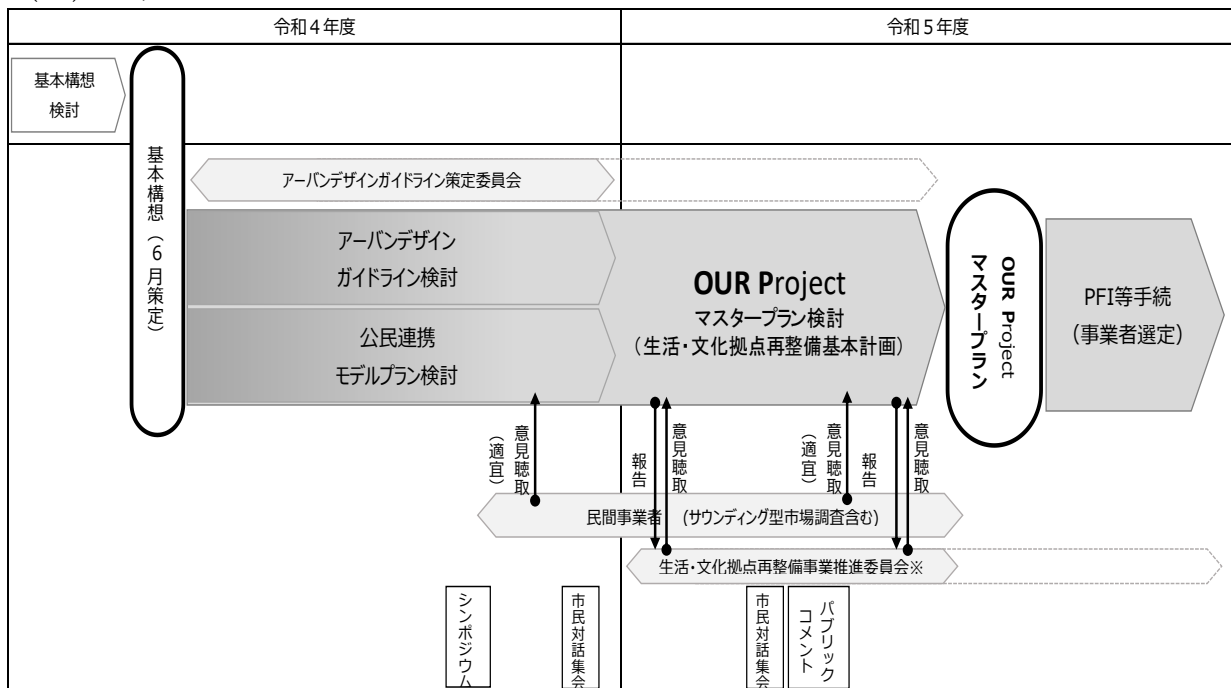
(1) OUR Project マスタープラン（基本計画）の策定

公民連携モデルプラン及びアーバンデザインガイドラインの検討を踏まえ、事業手法、施設整備計画、管理運営計画等を整理した基本計画を作成します。策定期間については、令和5年度を予定しています。

(2) 広報活動

本事業の取組における本市の考え方や進捗状況について、様々な媒体を用いて情報共有をしていきます。また、市民や施設利用者・関係団体等に事業への理解を深めていただくことを目的として、対話集会や、生活・文化拠点再整備事業推進委員会を開催します。

(3) スケジュール



※ 生活・文化拠点再整備事業推進委員会：関係団体等からの幅広く意見を聴取するもの

以上

（事務担当 企画政策部企画政策課）

生活・文化拠点のビジョンについて

1 ビジョンの設定について

ビジョンは、藤沢市民会館等再整備基本構想で定めた基本理念に基づき、本事業が単に施設を合築した「ハコモノ」の更新ではなく、エリア価値の向上に資するものとなるように、この事業でどのような未来を実現したいのかを示すものです。

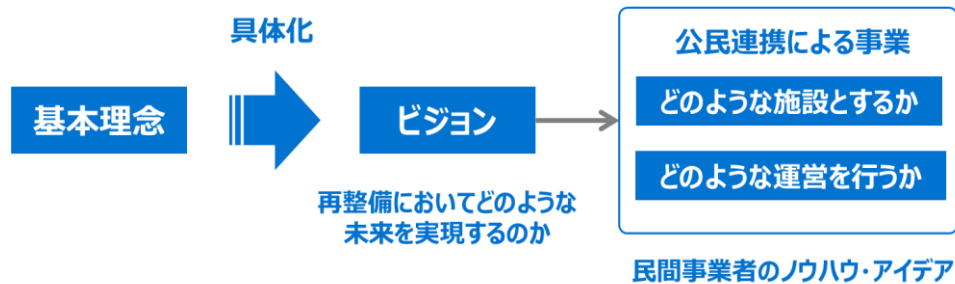


図 基本計画策定に向けた検討

ビジョン

ふじさわMIRAIファーム ～ここからはじまる未来への種まき～

なにかにチャレンジしたい人、これからを担う子どもたち、
「まだ知らない新しい可能性」との出会いをみんなで応援します。

このプロジェクトでは、なにかにチャレンジしたい人とこれからを担う子どもたちの「体験」「実践」「挑戦」をとおした育ちや活躍を支援します。また、その中心となる人や活動、この場に集う人々をシームレスにつなげることで、多彩な活動を生み出すきっかけを作り、成長と共創が持続する未来を実現します。

2 ビジョンの実現に向けた考え方

ビジョンの実現に向けては、「未来への投資」を基本的な考え方として、次の3つのポイントを掲げました。

- (1) 「チャレンジしたい人」と「これからを担う子どもたち」をメインターゲットとして、市民のやってみたいという好奇心からさらに極めたいという探究心を支援する

- (2) 単に機能や空間を共用するだけの機能集約・複合化ではなく、公園、図書、展示などを媒介としながら、ヒト・モノ・コトをシームレスにつなげる
- (3) 竣工＝完成ではなく、段階的な再投資を前提に、初期整備はシンプルかつベーシックなものとし、時代のニーズに合わせて方向転換、軌道修正をしながら新陳代謝を図っていく

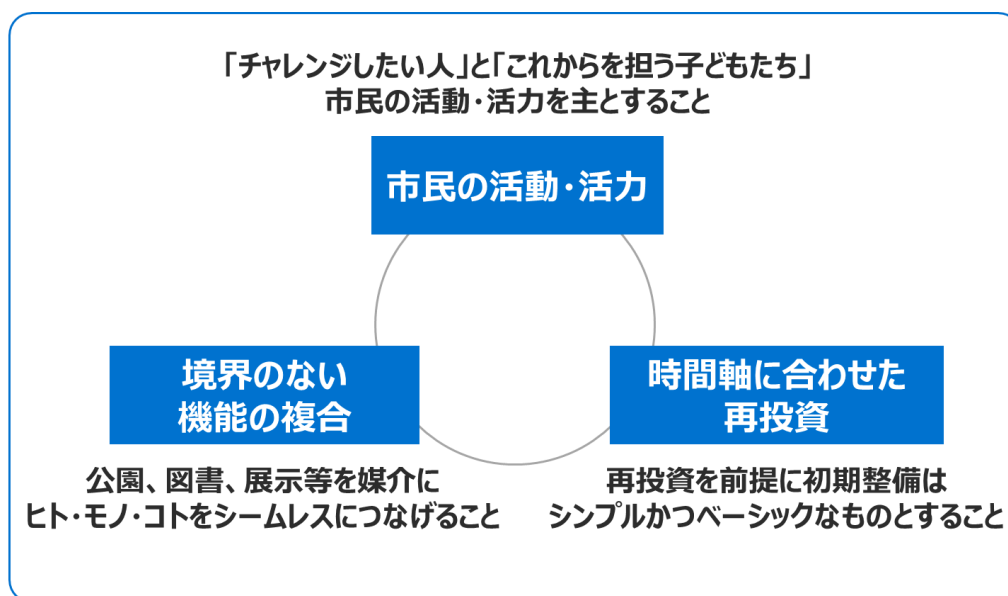


図 未来への投資のイメージ

今後、本事業については、旧来的な仕様発注ではなく「この事業でどのような未来を実現したいのか（＝ビジョン）」、「そのためになにをするのか（＝コンテンツ）」、「あらかじめ市として提示する条件（＝与条件）」を軸とした性能発注に基づき、公募に際しては、民間事業者から最大限自由な提案を引き出したいと考えています。

また、ビジョンの実現に向けては、地域に根ざした生活・文化への貢献に対して意欲を持った民間事業者と協働しながら、市も従来のしきたりや既成概念に捉われることなく、積極的にチャレンジすることを念頭に置き、事業を推進していきます。

以上

（事務担当 企画政策部企画政策課）